



2019年度

中央大学ボランティアセンター報告書





ご挨拶	1
概要	2
利用集計	3
取組記録	3
活動報告	6
1. 主催事業	6
① 被災地・復興支援活動	6
② 地域活動	7
③ 講座・説明会等	8
④ 報告・発表等	9
2. ボランティアセンター公認学生団体	10
① 被災地・復興支援活動	13
はまぎくのつぼみ	13
面瀬学習支援	14
チーム女川	15
ふらっと真備	16
チームくまもと	17
② 地域活動	18
チーム防災	18
りこボラ！	19
協定・助成金／表彰／メディア掲載	21

## ■副学長（学生総合支援担当）／学生部長 高橋 豊治

中央大学ボランティアセンターは、東日本大震災の復興支援活動の一つとして、ボランティアステーションという名でスタートしました。中央大学の教育力向上を目指すプロジェクトの一環として、「傾聴」をキーワードに復興支援活動の一翼を担うことを目的にしたものでした。その後、様々な経緯を経て、現在は、災害復興支援にかかわるボランティア活動を行う公認学生団体を取りまとめるセンターとして主に展開しています。

日本は自然災害の多い国ですから、災害からの復興支援のボランティア活動の果たす役割は非常に大切です。その「傾聴」活動は学生の学びに、社会貢献にとっても重要です。一方で、「傾聴」以外の災害復興支援活動、災害復興支援以外のボランティア活動も重要な社会貢献活動です。

設立当時の熱い気持ちを忘れずに、しかし、時代の変化に伴って生じている新しい環境への適応も大切にしながら、さらなる発展を期待します。



## ■ボランティアセンター長 中澤 秀雄

2019年度ボランティアセンター報告書刊行にあたり、活動を支えて下さる皆様に心より感謝を申し上げます。東北・熊本・岡山・長野の被災地、多摩・後楽園の各キャンパスの地元の市民・行政・企業・NPO・学校・各種団体の皆様、神戸でご指導下さる皆様、いつもありがとうございます。資金的には、委員会およびGakuvo（日本財団学生ボランティアセンター）の継続的なご支援という基盤のもとに、各種助成金にも応募し、今年度も朝日新聞厚生文化事業団、大塚商会ハートフル基金、キリン福祉財団、Yahoo!基金、信濃育英会、中央共同募金会、日野市役所・市民活動支援補助金、前川ヒトづくり財団等の支援を得ることができました。関係各位に重ねて御礼申し上げます。

中央大学の仕組み上、教職員からひろくご理解いただかない限り、ボランティアセンターの展望は開けません。学内の皆様には、ご批判・ご意見も含めてボランティアセンターにご関心を持って頂けますよう、心よりお願い申し上げます。また白門飛躍基金「社会貢献の部」への寄付も頂きましたら大変ありがたく存じます。

最後に、ボランティアセンターの財産と達成である学生の奮闘こそ、いつも私どもの心の支えです。



## ■ボランティアコーディネーター 開澤 裕美



2019年度を振り返ると、台風の襲来や新型コロナウイルスという見えない災害に悩まされた一年でした。被害を受けられた皆様には改めてお見舞い申し上げます。

東日本大震災から9年、熊本地震から4年が経ち、代替わりしながら設立当初の理念を受け継いで活動を続けてきた学生団体にとっては、改めて活動の目的や理念を問い直し、今自分たちができること、すべきことは何かを見つめ直す岐路となっています。自分はどうしたいのか、そして団体としてはどこを目指すのか。想いを言葉にし、仲間とぶつけ合い、チームとしての活動を継続していく困難さを、コーディネーターとして側でひしひしと感じています。

今後も、社会の課題を自ら発見し、現場へ足を運ぶことで「他人事」を「自分事」としてとらえ、自分のできることから柔軟に取り組んでいく。そんな草の根となり社会を創造的に築いていける人財を育てられるセンターであるべく、尽力してまいりたいと思います。

## ■設立のあゆみ

- 2011年3月 学生部学生課主導で校内募金活動実施
- 2011年8月 学生課主催により学生ボランティアを宮城県気仙沼市に派遣
- 2012年4月 東日本大震災被災地支援団体ネットワーク設立
- 2013年4月 ボランティアステーション設置
- 2015年4月 ボランティアセンター設立

## ■理念・目的等

東日本大震災を契機に、学生のボランティア活動を支援するため、学内調整を経て設立されました。志はあるが必ずしも方法論を持っていない学生たちにヒントを与え、相談に乗り、ロジスティックスの支援をすることを通じて、自発的な学生の活動をサポートしています。事前事後学習や傾聴講座など、現場経験を学生の学びと言語化に繋げることを重視しています。

## ■運営委員

	所属	氏名		所属	氏名
一号委員	法学部	中澤秀雄		総合政策学部	横山 陸
二号委員	文学部	藤原浩史		国際経営学部	楊 川
三号委員	法学部	西 亮太		国際情報学部	小花聖輝
	経済学部	亀井伸治	四号委員	学生部事務室	佐々木文昭
	商学部	吉村謙輔		学生課	石橋敦史
	文学部	山科 満	五号委員	学生課	開澤裕美
	理工学部	田口善弘			

## ■公認学生団体 顧問

団体名	所属	氏名	団体名	所属	氏名
はまぎくのつぼみ	文学部	山科 満	チーム防災	商学部	中村寛樹
	文学部	吉野朋美	りこボラ!	理工学部	田口善弘
	法学部	小室夕里	ふらっと真備	法学部	中澤秀雄
面瀬学習支援	法学部	猪股孝史	チームくまもと	法学部	平山令二
	法学部	西 亮太		法学部	中澤秀雄
チーム女川	法学部	中澤秀雄			

## ■活動内容

### 【被災地・復興支援活動】

被災地の一刻も早い復興を願い、学生ボランティアによる支援を行っています。被災地支援ボランティアを行う学生への活動費補助やボランティアセンター主催のプログラムを実施しています。

また、東北学院大学を拠点校におく「大学間連携災害ボランティアネットワーク」に加盟しています。

### 〈ボランティアセンター公認学生団体〉

- ・はまぎくのつぼみ（岩手県宮古市／コミュニティ支援）
- ・面瀬学習支援（宮城県気仙沼市面瀬／学習支援）
- ・チーム女川（宮城県牡鹿郡女川町／地域支援）
- ・ふらっと真備（岡山県倉敷市真備町／コミュニティ支援）
- ・チームくまもと（熊本県阿蘇郡西原村／コミュニティ支援）

### 【地域活動】

環境・農業・福祉・まちづくりなど、近隣の社会福祉協議会や団体などのボランティア情報を提供しています。また、災害時に学生が自分の命を守り、周囲の助けとなることが出来る実技講座や、ボランティア初心者の方でも参加しやすい企画を実施しています。

### 〈ボランティアセンター公認学生団体〉

- ・チーム防災（多摩キャンパス周辺／防災啓発活動）
- ・りこボラ！（後楽園キャンパス周辺／ボランティア啓発活動）

### 〈多摩キャンパスの活動例〉

- ・ユギ里山ファーム
- ・落川交流センター
- ・ひの新選組まつり
- ・クリーン大作戦（キャンパス内外でのごみ拾い）
- ・まちづくり市民フェア
- ・大栗川キャンドルリバー
- ・せせらぎ農園

### 【ボランティア育成プログラム】

初めての人から経験者まで、ボランティア活動がより充実するための、スキルアップ講座を実施しています。

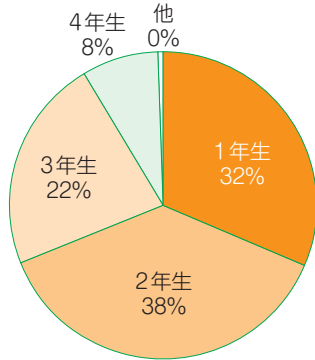
## 〈ボランティアセンター相談者数統計〉

### ■相談者数

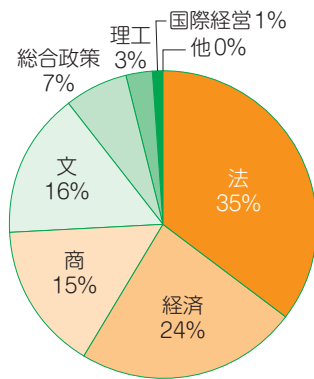
(人)

月	相談者	男	女	法	経	商	文	総	理	国	他	1	2	3	4	他	被災地/ 災害支援	子ども/ 青少年	福祉	国際	地域/ まちづくり	環境	文化/ 芸術	スポーツ	他
4月	317	158	159	128	64	29	60	22	5	9	169	86	57	5	0	224	61	40	74	87	72	33	30	12	
5月	236	133	103	87	60	39	36	11	1	2	64	98	64	10	0	213	23	10	18	31	25	15	12	5	
6月	251	133	118	95	61	40	40	15			86	97	61	6	1	232	41	47	31	58	51	31	22	7	
7月	249	128	121	85	56	40	37	24	5	2	50	116	63	19	1	207	18	11	17	24	18	11	11	4	
8月	54	30	24	17	10	10	13	4			8	23	17	6		52	5	4	4	8	6	3	2	3	
9月	140	79	61	56	31	18	18	7	5	2	41	56	32	8		119	12	5	12	7	8	6	5	1	
10月	245	138	107	78	50	31	27	17	41	1	79	88	48	29	1	236	6	3	4	5	5	3	3	1	
11月	201	104	97	73	48	37	29	14			55	65	49	29	3	156	8	5	7	15	11	3	4	0	
12月	166	87	79	47	42	31	30	14	2		45	55	38	27	1	124	5	4	3	6	6	1	1	0	
1月	137	81	56	39	44	26	22	5		1	32	56	26	23		89	7	5	5	6	5	4	2	2	
2月	82	44	38	28	21	18	10	4		1	28	38	10	6		66	1	0	1	1	1	1	1	1	
3月	11	8	3	2	4	1	2	1	1		3	2	1	5		11	3	3	2	4	4	2	1	1	
合計	2089	1123	966	735	491	320	324	138	60	18	0	660	780	466	173	7	1729	190	137	178	252	212	113	94	37

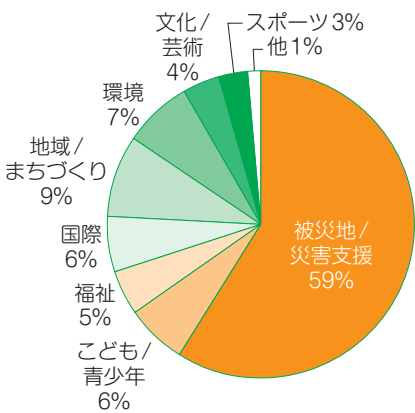
### ■学年



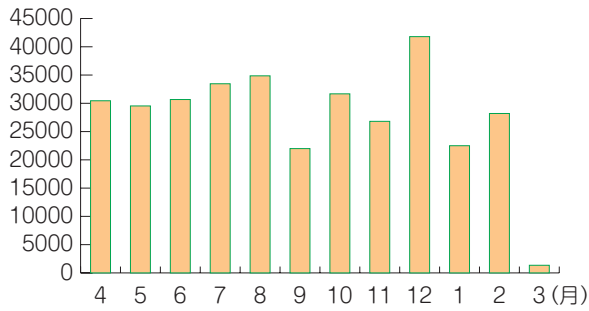
### ■学部



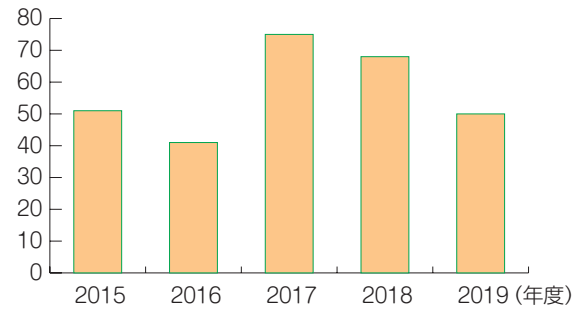
### ■興味のある分野



### ■ボランティアセンター利用記録 (分)



### ■ボランティアセンター本貸出記録 (冊)



## 1. 主催事業

### ① 被災地・復興支援活動

#### ■令和元年台風15号・19号関連

活動タイトル	活動概要	日程※	活動日数	参加人数
令和元年台風15号 募金活動	多摩キャンパス・後楽園キャンパスでの募金活動	9/26(木)～10/31(木)	32	36
令和元年台風19号 募金活動(多摩キャンパス)	多摩キャンパスでの募金活動	11/13(水)～11/14(木)	2	3
令和元年台風19号 募金活動(後楽園キャンパス)	後楽園キャンパスでの募金活動	11/15(金)	1	5
令和元年台風19号 長野市での災害ボランティア1	荷物の運び出し、泥かき等	11/23(土)～11/24(日)	2	21
令和元年台風19号 丸森町での災害ボランティア	引越し手伝い、泥かき、農作業手伝い等	12/25(水)～12/27(金)	3	19
令和元年台風19号 長野市での災害ボランティア2	農業の手伝い、家屋の修復、写真洗浄等	2/18(火)～2/20(木)	3	14
令和元年台風19号 長野市での災害ボランティア3(中止)	農業の手伝い、家屋の修復、写真洗浄等	3/10(火)～3/12(木)	-	-
小計			43	98

## ■大学間連携災害ボランティアネットワーク

活動タイトル	活動概要	日程※	活動日数	参加人数
東北・夏季ボランティア1 (気仙沼市)	語り部受講、災害復興公営住宅支援、漁業支援等	8/ 4 (日) ~ 8/ 7 (水)	4	8
東北・夏季ボランティア2 (巨理郡山元町)	防災林・ラベンダーガーデンの除草、震災・防災学習他	8/19 (月) ~ 8/21 (水)	3	6
東北・夏季ボランティア3 (石巻市牡鹿半島)	漁業支援 (殻刺し、ワカメのバック詰め、草刈り)	9/ 2 (月) ~ 9/ 4 (水)	3	6
小計			10	20

## ② 地域活動

活動タイトル	活動概要	日程※	活動日数	参加人数
ユギ里山ファーム	里山での農作業手伝い	4/27 (土)	1	2
石巻市小瀬浜漁業支援	漁業支援 (ワカメの加工工程の手伝い・梱包作業等)	4/28 (日) ~ 4/29 (月)	2	1
八景寮・こどもの日フェスティバル	児童養護施設で開催されるお祭りの手伝い	5/ 5 (日)	1	1
ひの新選組まつり	ひの新選組まつりでの運営サポート	5/11 (土) ~ 5/12 (日)	2	10
クリーン大作戦・春の陣	多摩キャンパス周辺の清掃	5/26 (日)	1	30
みんなの遊・友ランド	障害のある子ども達と楽しむイベントの運営サポート	6/16 (日)	1	2
クリーン作戦 ミニッツ	昼休みに行う多摩キャンパス周辺の清掃	6/18 (火)	1	6
落川交流センター・炊き出し訓練&マルシェ1	炊き出し訓練や市民マルシェの手伝い	6/23 (日)	1	1
高幡参道七夕まつり&若宮夏まつり	高幡参道七夕まつり&若宮夏まつりの運営サポート	7/ 6 (土)	1	2
落川交流センター・炊き出し訓練&マルシェ2	炊き出し訓練や市民マルシェの手伝い	7/28 (日)	1	3
みんなといっしょの運動会	障害のある方々と楽しむスポーツイベントの運営サポート	10/6 (日)	1	3
まちづくり市民フェア	ブース運営、フェア運営手伝い	10/20 (日)	1	6
大栗川キャンドルリバー	由木地域の住民交流イベントの手伝い	11/30 (土)	1	2
せせらぎ農園	農作業の手伝い	12/15 (日)	1	2
小計			16	71

## ③ 講座・説明会等

活動タイトル	活動概要	日程※	活動日数	参加人数
公認学生団体 スタートアップセミナー (多摩キャンパス)	今年度の体制について、目標設定	4/ 4 (木)	1	38
理工学部新入生ガイダンス (後楽園キャンパス)	ボランティアセンターの紹介、ボランティアの体験談	4/ 5 (金)	1	90
理工学部1年生対象 ボランティア入門講座 (後楽園キャンパス)	文京区社会福祉協議会・中大ボランティアコーディネーターによるボランティア講座	6/24 (月) ~ 6/25 (火)	2	40
地域×ボランティアプログラム (講座編)	2名の外部講師による講座、ワークショップ	6/ 7 (金)	1	33
地域×ボランティアプログラム (オリエンテーション: 環境・農業)	環境・農業分野の課題に関するクイズ、ワークショッププログラム説明	6/12 (水)	1	19
地域×ボランティアプログラム (オリエンテーション: 地域・お祭り・防災)	地域・防災の課題に関するクイズ、ワークショッププログラム説明	6/26 (水)	1	13
地域×ボランティアプログラム (オリエンテーション: 福祉・子ども)	福祉・子ども分野の課題に関するクイズ、ワークショッププログラム説明	7/ 3 (水)	1	4
傾聴講座 (学生相談室とのコラボ)	学生相談室カウンセラーによる傾聴講座	7/ 6 (土)	1	92
公認学生団体 夏季決起集会&うどんパーティー	目標設定、団体代表による活動報告、交流会等	7/ 6 (土)	1	104
災害救援ボランティア講座	災害・防災ボランティア活動への理解を深める講座	7/31 (水) ~ 8/ 2 (金)	3	29
振り返りワークショップ (多摩キャンパス)	個人の目的の振り返り、自身の気付きと課題の洗い出し	9/21 (土)	1	68
振り返りワークショップ (後楽園キャンパス)	個人の目的の振り返り、自身の気付きと課題の洗い出し	10/ 5 (土)	1	21
ユニバーサルスポーツ体験会 (後楽園キャンパス)	ユニバーサルスポーツに関する座学や体験	12/ 5 (木)	1	24
みんなで語ろう! ボラセン総会議 with4年生	団体所属学生による活動や運営についての話し合い	12/15 (日)	1	52
小計			17	627

## ④ 報告・発表等

活動タイトル	活動概要	日程※	活動日数	参加人数
西日本豪雨災害大学ボランティアセンター助成活動報告会 (朝日新聞大阪本社)	真備での活動についての発表	5/25 (土)	1	1
ホームカミングデー (後楽園キャンパス)	物産展 (はまぎくのつぼみ、チーム女川)、写真展	9/29 (日)	1	58
ボランティアウィーク	活動先の写真の展示、各団体15分の活動発表	10/21 (月) ~ 10/28 (月)	8	104
大学間連携災害ボランティアシンポジウム (東北学院大学)	災害に関する講演、パネルディスカッション	12/14 (土)	1	3
大学生ボランティア活動報告会&イベント (ボラネット多摩)	多摩地区の5大学によるトークセッション・物産展・防災イベント	2/15 (土)	1	42
小計			12	208

## 2. ボランティアセンター公認学生団体

### ① 被災地・復興支援活動

活動タイトル	活動概要	日程※	活動日数	参加人数
チーム女川 5月活動	6月活動に向けた木村区長との打ち合わせ	5/ 2 (木) ~ 5/ 4 (土)	3	2
面瀬学習支援 気仙沼スタディツアー	新入生のためのスタディツアー、ヒアリングや訪問	6/ 7 (金) ~ 6/10 (月)	4	11
はまぎくのつぼみ 夏活動事前調査	ヒアリング、ご挨拶	6/21 (金) ~ 6/23 (日)	3	4
チーム女川 女川スタディツアー	新入生のためのスタディツアー、ヒアリングや訪問	6/28 (金) ~ 6/30 (日)	3	11
チームくまもと 夏活動事前調査	新入生のためのスタディツアー、ヒアリング	6/29 (土) ~ 6/30 (日)	2	20
ふらっと真備 6月活動	ヒアリング、戸別訪問、仮設住宅でのお茶会参加等	6/29 (土) ~ 6/30 (日)	2	14
はまぎくのつぼみ 夏活動 第1クール	ヒアリング、学ぶ防災ツアー、夏祭りの手伝い	8/ 8 (木) ~ 8/13 (火)	6	13
はまぎくのつぼみ 夏活動 第2クール	学ぶ防災ツアー、夏祭りの手伝い、企業訪問等	8/14 (水) ~ 8/18 (日)	5	11
ふらっと真備 夏活動 第1クール	訪問、家屋整理、写真洗浄	8/15 (木) ~ 8/19 (月)	5	9
面瀬学習支援 夏活動	宿題指導、自由遊び、ふれあい農園での企画等	8/16 (金) ~ 8/25 (日)	10	37
ふらっと真備 夏活動 第2クール	スタディツアー、戸別訪問、イベント、写真洗浄等	8/18 (日) ~ 8/22 (木)	5	14
ふらっと真備 夏活動 第3クール	戸別訪問、イベント等	9/ 6 (金) ~ 9/10 (火)	5	14
チーム女川 夏活動 第1クール	戸別訪問、イベント、ヒアリング	9/11 (水) ~ 9/14 (土)	4	9
はまぎくのつぼみ 夏活動 第1クール	秋祭りの手伝い、戸別訪問、イベント	9/12 (木) ~ 8/17 (火)	6	14
チームくまもと 夏活動	戸別訪問、イベント、ヒアリング	9/14 (土) ~ 9/17 (火)	4	23
チーム女川 夏活動 第2クール	戸別訪問、イベント、ヒアリング	9/15 (日) ~ 9/18 (水)	4	9
はまぎくのつぼみ わたぼうし祭	福祉施設での物産展運営	9/29 (日)	1	10

活動タイトル	活動概要	日程※	活動日数	参加人数
はまぎくつぼみ (みやこらぼ) 白門祭	焼きドーナツの販売、売上金一部を岩手県宮古市に寄付	11/ 1 (金) ~ 11/ 4 (月)	4	32
チーム女川 白門祭	宮城県女川町さんまのつみれ汁の販売	11/ 3 (日) ~ 11/ 4 (月)	2	9
はまぎくつぼみ 生協物産展	岩手県宮古市の商品を販売、売上金一部を岩手県宮古市に寄付	11/11 (月) ~ 11/15 (金)	5	30
チームくまもと 11月活動	ヒアリング、ご挨拶	11/23 (土) ~ 11/24 (日)	2	10
面瀬学習支援 冬活動	宿題指導、自由遊び、ふれあい農園での企画等	12/20 (金) ~ 12/30 (月)	11	42
ふらっと真備 冬活動	戸別訪問、イベント、ヒアリング	12/21 (土) ~ 12/22 (日)	2	9
はまぎくつぼみ 春活動	企業訪問、イベント、ヒアリング	2/21 (金) ~ 2/26 (水)	6	13
チーム女川 春活動 (中止)	戸別訪問、イベント、ヒアリング	2/28 (金) ~ 3/ 2 (月)	-	-
神戸スタディツアー (中止)	阪神・淡路談話ボランティア活動に学ぶスタディツアー	3/ 5 (木) ~ 3/ 6 (金)	-	-
ふらっと真備 春活動 (中止)	戸別訪問、イベント、ヒアリング	3/17 (火) ~ 3/22 (日)	-	-
面瀬学習支援 春活動 (中止)	宿題指導、自由遊び、ふれあい農園での企画等	3/20 (金) ~ 3/29 (日)	-	-
チームくまもと 春活動 (中止)	戸別訪問、イベント、ヒアリング	3/28 (土) ~ 3/29 (日)	-	-
		小計	104	370

## ② 地域活動

### ■チーム防災

活動タイトル	活動概要	日程※	活動日数	参加人数
七ツ塚自治会カエルキャラバン	自治会と連携し防災の知識を学べるプログラムの実施	5/26 (日)	1	10
日野探し物ラリー	日野市内の防災の状況調査	6/16 (日)	1	12
トリアージ訓練 (明星大学)	災害医療におけるボランティアと緊急時の対応の学習	6/29 (土)	1	3
南平高校HUG	1年生対象の高校主催避難所運営ゲームの補助	7/ 4 (木)	1	2
日野市地域懇談会	「防災と居場所」などについての日野市主催の懇談会	7/ 6 (土)	1	5
防災ゲームDay (そなエリア東京)	体験を通しての防災学習	7/ 7 (日)	1	10
五小祭	防災百人一首の実施	7/20 (土)	1	6
内閣府子ども霞ヶ関デー	防災体験エリアにおける防災ゲームの実施	8/ 7 (水) ~ 8/8 (木)	2	13
北川原公園グラウンドでのイベント	イベントでの防災すごろく、防災百人一首の出展	10/13 (日)	1	12
まちづくり市民フェア	日野市のイベントでの防災百人一首と毛布担架の実施	10/22 (火)	1	14
防災授業 (中央大学附属中学校)	毛布担架、紙食器づくり、クロスロードによる防災学習支援	10/25 (金)	1	7
避難所開設訓練 (日野第四小学校)	避難所の開設に関する訓練、空き缶を使った炊飯体験など	10/26 (土) ~ 10/27 (日)	2	5
白門祭	おしるこ (防災食) の販売	11/ 2 (土) ~ 11/3 (日)	1	28
トリアージ訓練 (拓殖大学)	災害医療におけるボランティアと緊急時の対応の学習	12/ 7 (土)	1	4
南平高校HUG	1年生対象の高校主催避難所運営ゲームの補助	12/24 (火)	1	6
帰宅困難者対策訓練 (品川駅)	駅で大規模震災に遭った場合を想定した防災訓練	2/ 4 (火)	1	4
		小計	18	141

### ■りこボラ!

活動タイトル	活動概要	日程※	活動日数	参加人数
花花花見	公園でのゴミ拾い、ゴミ拾い終了後の花見	4/ 5 (金)	1	56
新歓活動 知り放題ランチ	ボランティアに関する個別説明会	4/10 (水)	1	30
運営説明会	りこボラ! の運営に関する説明会	4/18 (木)	1	50
花壇整備	地域の方と一緒に花壇整備、ボランティアの説明	4/20 (土)	1	16
お菓子パーティー	新入生と上級生の交流会	4/23 (火)	1	25
第1回総会	りこボラ! の新体制の発表と説明、スタートアップ会	5/12 (日)	1	63
わんぱく相撲 (文京区総合体育館)	第43回わんぱく相撲文京区大会の運営手伝い	5/19 (日)	1	2
ボランティア講演 (京華中学校)	中学生に対するボランティア体験談の講演	5/26 (日)	1	1
ボラカフェ	本学の大学院生による報告「チャリティーサンタ」	5/29 (水)	1	49
ぼうさい運動会	「某31 (防災) の日プロジェクト」として開催	5/31 (金)	1	13
りこぼら相談室	ボランティアについての相談会	6/19 (水)	1	20
クリーン大作戦	後楽園キャンパス周辺の清掃	6/22 (土)	1	13
学生ソーシャルアクション連絡会	文京区内でボランティアをしている学生の交流会	6/27 (木)	1	7
防災ゲーム大会	「某31 (防災) の日プロジェクト」としてクイズ大会を実施	7/ 6 (土)	1	12
理科実験ボランティアイベント	外部団体と協力して行った小学生に対する理科実験イベント	7/ 7 (水)	1	8
ボラカフェ	本学の学部生による講演「祭り子どもキャンプ」	7/10 (水)	1	51
納涼祭 (三組弥生会)	設営・運営ボランティア	8/ 3 (土)	1	7
学生企画ワークショップ	後楽園キャンパス自衛消防隊を対象にした議論会	8/ 7 (水)	1	6
白山神社祭礼	設営・運営ボランティア	8/14 (水) ~ 8/15 (木)	2	14
江ノ島ビーチクリーンイベント	他ボランティア団体と合同のビーチクリーンイベント	8/22 (水)	1	21
湯島KID'S PROJECT (湯島聖堂大聖殿)	屋台の手伝い	8/24 (土)	1	4
合宿 (福島県いわき市)	運営・活動についての話し合い	8/29 (木) ~ 8/30 (金)	2	21
ぼうさい遠足 (そなエリア東京)	「某31 (防災) の日プロジェクト」として開催した首都直下型地震に対する防災学習	8/31 (金)	1	6
後期StartDashCleanUp!	後楽園駅周辺でのゴミ拾い活動	9/20 (金)	1	3
聞いて得する! ボランティア入門	1年生向けオリエンテーションのボランティア回での発表	10/14 (月)	1	3
表町町会の子ども食堂	食事の提供や準備、片付け	10/24 (木)	1	2
ボラカフェ	台風19号被害に関するボランティア体験の共有および意見交換会	10/30 (水)	1	20
ハロウィンゴミ拾い	池袋サンシャインシティ周辺でのゴミ拾い活動	10/31 (木)	1	7
大学祭 (後楽園キャンパス)	活動展示および屋台でのフライドポテト販売	11/ 2 (日) ~ 11/ 4 (月)	3	24
クリーン大作戦	後楽園キャンパス周辺 (東京ドーム周辺) でのゴミ拾い	11/24 (日)	1	16
礪川マラソン道路警備	礪川マラソンコース (伝通院通り) の道路警備ボランティア	11/24 (日)	1	3
ボラカフェ	新代表による春休み等の活動紹介、新体制紹介	12/18 (水)	1	25
鴉のゴミ拾い調査	世田谷区三軒茶屋駅周辺でのゴミ拾い活動	12/28 (土)	1	8
合宿 (新潟県魚沼市)	運営・活動についての話し合い	2/17 (月) ~ 2/18 (火)	2	15
		小計	39	621
		合計	259	2156

※車内泊を含みます

# 1. 主催事業

## ① 被災地・復興支援活動

### ■長野市災害ボランティア

台風19号により被害を受けた長野県長野市において、学員会・父母連絡会や関係者にご支援いただき11月に災害ボランティア活動を実施しました。また2月にも、現地の方々の多大なるご協力をいただき、春活動を行いました。

	日程	活動内容	人数
第1回活動	11/23 (土) ~ 11/24 (日)	リンゴ園での泥かき	学生21、教職員2
第2回活動	2/18 (火) ~ 2/20 (木)	農業の手伝い、家屋の修復、写真洗浄等	学生14、職員1
第3回活動 (中止)	3/10 (火) ~ 3/12 (木)	農業の手伝い、家屋の修復、写真洗浄等	—

### ■丸森町災害ボランティア

台風19号により被害を受けた宮城県伊具郡丸森町において、2泊3日のボランティア活動を行いました。丸森町役場をはじめ、多くの方々にお世話になり充実した活動を行うことができました。

参加した学生からは、「来てくれるだけでありがたい、と色々な方々から言っていただき、少しでも被災された方の役に立てたのではないかと感じて嬉しかった」など、率直な意見が聞かれました。

日程	活動内容	人数
12/25 (水) ~ 12/27 (金)	家屋の壁はがし、泥出し、床下の泥磨き、農作業、仮設住宅での活動	学生19、教職員2

### ■募金活動 (台風15号・19号)

〈台風15号被災地支援募金活動結果〉

納付先：社会福祉法人中央共同募金会

活動内容	場所	日時	金額
募金活動	多摩キャンパス ベデ下の生協入口周辺	10/ 1 (火) 12:40~13:10	9,832円
		10/ 4 (金) 12:40~13:10	11,004円
	後楽園キャンパス 5・6号館の間	9/30 (月) 12:40~13:10	12,598円
		10/ 2 (水) 12:40~13:10	11,175円
募金箱	多摩キャンパス 学生部事務室学生課窓口	10/ 1 (火) ~ 10/31 (木)	2,020円

**合計 46,629円**

〈台風19号被災地支援募金活動結果〉

納付先：社会福祉法人中央共同募金会

活動内容	場所	日時	金額
募金活動	多摩キャンパス 生協店舗内	11/13 (水) 12:40~13:10	4,468円
		11/14 (木) 12:40~13:10	4,518円
	後楽園キャンパス 5・6号館の間	11/15 (金) 12:40~13:10	6,666円

**合計 15,652円**



【長野市第1回 リンゴ園での活動】



【募金活動 多摩キャンパス】



【丸森町 名産へそ大根づくり作業】



【丸森町 壁はがし作業】



【募金活動 後楽園キャンパス】



【長野市第2回 写真洗浄】



## 2 地域活動

### 〈クリーン大作戦〉

気温30度を超える強い日差しの中、クリーン大作戦・春の陣を行いました。学生28人、職員とその家族5人の合計33人が参加し、東中野・谷津入自治会の方々と一緒にゴミ拾いをしました。

学生の人数が多かったため、コースを2つに分け（①正門～野猿街道、②正門～東門周辺）活動を行いました。地域の方々も作業しながらの流れ解散となり、約1時間で終わりました。地域の方々との協働作業のため、今後どのようにすればお互い作業がしやすく、また学生にとってもやり甲斐も感じられるようにできるのか、検討課題が残りました。活動後はボランティアセンターで1時間程度交流会を行い、学生間交流が活発に行われました。

活動	日時	内容	人数	備考
クリーン大作戦・春の陣	5/26（日）9:00～11:30	中央大学多摩キャンパス周辺のゴミ拾い	33（学生28、職員とその家族5）	実施
クリーン大作戦・秋の陣	11/24（日）9:00～12:00	中央大学多摩キャンパス周辺のゴミ拾い	—	雨天のため中止

### 〈まちづくり市民フェア〉

日野市の市民まつりである「まちづくり市民フェア2019」が、10月20日（日）に日野市市民の森ふれあいホールで開かれ、中央大学ボランティアセンターから学生ボランティア19人と職員1人で参加しました。

今回は従来とは異なり、会場の市民の森ふれあいホール1階と屋外に全ての企画を盛り込む形となりました。中央大学ボランティアセンターもブースを出し活動紹介を行ったほか、独自企画として「チーム防災」による「大学生と学ぼう！防災アトラクション」を実施しました。

「まちづくり市民フェア」の企画は6年目となり、内容も大きく変わらないため、集客の面では大きく課題が残りました。今後このイベント自体をどのようにしていくのか、地域の方々と一緒に考えていく予定です。

日時	内容	人数	場所
10/20（日）10:00～15:00	ブース運営、フェア運営手伝い	20（学生19、職員1）	日野市民の森ふれあいホール

### 〈落川交流センター〉

災害が起こった時に備え、まずは顔の見える関係づくりから始めよう、ということで始まった地域の拠点づくり。多世代が多く集う地域の拠点となっている『落川交流センター』では、毎月炊き出し訓練や市民マルシェを行っています。

日時	内容	人数	場所
7/28（日）10:00～15:00	炊き出し訓練、市民マルシェ手伝い	3	落川交流センター

### 〈大栗川キャンドルリバー〉

「大栗川キャンドルリバー」とは、多摩キャンパスが立地する由木地域の中心を流れる大栗川沿いを3万個のキャンドルで灯し、住民同士が交流するイベントです。10月開催予定でしたが台風のため延期となり、今回で5回目の開催となりました。新興住宅地の住民と古くからの住民の交流を促進するための活動を行います。キャンドル準備、点灯などでイベントを支援しました。

日時	内容	人数	場所
11/30（土）13:00～21:00	由木地域の住民交流イベントの手伝い	2	大栗川公園



【クリーン大作戦・春の陣】



【まちづくり市民フェア】



【落川交流センター】



【大栗川キャンドルリバー】

### ③ 講座・説明会等

#### 〈地域×ボランティアプログラム〉@多摩キャンパス

社会課題に取り組むボランティア全般を知ることによって自分のキャリアにつなげて考えるきっかけを作り、実際にボランティア活動を行い、自分自身の体験を言葉にすることで、ボランティアの意義や魅力を実感してもらうプログラムを実施しました。

	内容	日時	人数
講座編	〈外部講師による講演〉 ・滝井元視氏 (キャリア・カウンセラー、元日野市職員、中大OB) ・渡辺あゆみ氏 (日野市役所・地域協働課)  〈社会課題を考えるワークショップ〉 社会人基礎力とは、キャリアを考え大学生のうちに行うことができること、ボランティアでできること、ボランティアの目的や意義、公務員として地域住民とのかかわりと大学生に期待すること	6/7 (金) 5限	33
オリエンテーション	環境&農業編	6/12 (水) 昼休み	19
	地域&お祭り&防災編	6/26 (水) 昼休み	13
	福祉&子ども編	7/3 (水) 昼休み	4
現場編	受入れ先にて各自で行うボランティア活動	オリエンテーション後~12月	—
振り返り編	ボランティア体験の振り返り、共有	1/27 (月) 10:00~11:30	3

#### 〈傾聴講座〉@多摩キャンパス

前半は講義で傾聴の基本姿勢を学び、後半は3人1組で聞き手・話し手・オブザーバーの3役を割り振っての「ロールプレイ」を行い、傾聴スキルアップに取り組みました。

内容	日時	人数
竹部友子氏 (学生相談室カウンセラー・臨床心理士) による講義、ロールプレイング	7月6日 (土) 13:00~15:00	92

#### 〈ユニバーサルスポーツ体験会〉@後楽園キャンパス

東京オリンピック・パラリンピックに向けて、パラリンピックを糸口に福祉への関心を高めていくため、文京区社会福祉協議会と協力して実施しました。

内容	日時	人数
・文京区社会福祉協議会による講演「社協とは？福祉って？」 ・西岡廉登さん (文学部4年) による講演 「パラリンピックのトリセツ~これであなたも俄かファン！」 ・高齢者疑似体験、カーレット体験、「障がい×スポーツ」を考えるワークショップ	12/5 (木) 12:40~15:00	24



【地域×ボランティアプログラム】



【傾聴講座】



【ユニバーサルスポーツ体験会】

## 4 報告・発表等

### 〈学内〉

#### ■ホームカミングデー @後楽園キャンパス、東京ドームホテル

9/29（日）に開催され、卒業生のみならずボランティア活動を行っている学生の父母等、学内外から多くの方にお越しいただきました。写真を通して一生懸命活動をする学生の姿をご覧いただくとともに、「はまぎくのつぼみ」「チーム女川」の2団体が物産展を開催しました。今年は、「はまぎくのつぼみ」からコラボ商品チームが発足し、岩手県宮古市の会社の商品にオリジナルのパッケージを考案・ラベリングし、焼きドーナツ330個を販売、完売することができました。また、学生のボランティア活動資金（白門飛躍募金）へ多くの方からご寄付をいただきました。

#### ■ボランティアウィーク@多摩キャンパス

【写真展】10/21（月）～28（月）

公認学生団体の活動や日頃のボランティア活動の様子をお伝えするために、写真展を行いました。

【活動発表】10/23（水）～25（金）

公認学生団体の学生による活動報告会を昼休みに実施し、延べ104名の学生・教職員が来場しました。

初日には「チームくまもと」に助成してくださった企業の方にお越しいただき、社内報にその様子が掲載されました。

### 〈学外〉

#### ■西日本豪雨災害大学ボランティアセンター助成活動報告会@朝日新聞大阪本社

「西日本豪雨災害大学ボランティアセンター助成金」（社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団）に採択していただき（対象期間：2018年12月～2019年3月、助成金：30万円）、一般学生も含めた活動を岡山県倉敷市真備町にて行いました。活動報告会が5/25（土）に朝日新聞大阪本社にて実施され、学生1名と職員1名で参加し、20分間の活動発表を行いました。

内容	日程	参加者
報告会での活動発表	5/25（土）	りこボラ！：松田美慧 職員：開澤裕美

#### ■大学間連携災害ボランティアシンポジウム@東北学院大学

大学間連携災害ボランティアシンポジウム「災害ボランティアの25年…これまでとこれから」に公認学生団体の学生3名が参加しました。

内容	日時	参加者
パネルディスカッション ポスター報告 リレートーク	12/14(土)10:50～18:30	チーム女川：新開千聖 はまぎくのつぼみ：榎本由波 チームくまもと：甲斐千尋



【ホームカミングデー】



【大学間連携災害ボランティアシンポジウム】

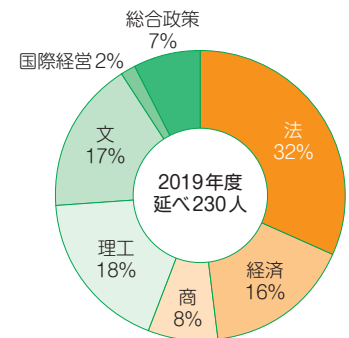
## 2. ボランティアセンター公認学生団体

### 〈団体概要〉

中央大学学生部では、2011年3月11日に発生した東日本大震災以降、継続的に被災地支援のボランティア活動を行う学生を支援しています。2012年4月からは、「被災地支援学生団体ネットワーク」を設立し、特定の狭い場所と継続的に関係を持つ学生団体を支援する体制へと移行しました。2017年4月からは、名称を「ボランティアセンター公認学生団体」と改め、被災地に限らず多摩地域や都内等キャンパス周辺での活動を継続的に展開する団体も公認し支援することとしました。

団体名	活動開始	活動地	活動内容
はまぎくのつぼみ	2012年 8月	岩手県宮古市	コミュニティ支援、物産展
面瀬学習支援	2012年 3月	宮城県気仙沼市	子ども支援
チーム女川	2015年 4月	宮城県牡鹿郡女川町	コミュニティ支援、物産展
ふらっと真備	2018年11月	岡山県倉敷市真備町	コミュニティ支援
チームくまもと	2016年 5月	熊本県阿蘇郡西原村	コミュニティ支援
チーム防災	2015年 8月	日野市	地域防災の啓発
りこボラ!	2015年12月	文京区(後楽園キャンパス)	中大生のボランティア支援

### 〈所属学部内訳〉



### 〈スタートアップセミナー〉@多摩キャンパス・後楽園キャンパス

2年生以上の学生を対象に、目的意識の統一を目標とした「スタートアップセミナー」を実施しました。学生側もボランティアセンター側も新体制となった年度の初めに学生の帰属意識を高め、各自が目標を設定することを目的としました。ボランティアセンター長、各団体の顧問も出席し、参加学生にとっては貴重な時間となりました。

内容	日時	人数
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新体制について</li> <li>・活動補助について</li> <li>・今年度の予定</li> <li>・目標設定(各個人の振り返りと目標設定)</li> </ul>	4/ 4 (木) 15:00~16:30	38
	5/12 (日) 14:50~16:00	63

### 〈決起集会〉@多摩キャンパス

夏活動を行う前に決起集会を実施しました。ボランティアセンターがオリジナルで作成した「フィールド・ノート」を配布し、活動における目標意識を高める工夫とノートの使い方を説明し、夏活動における個人の目標設定とその共有を行いました。また公認学生団体代表が現在の状況を話し、顧問よりフィードバックを行いました。決起集会後には交流会も行いました。

内容	日時	人数
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアセンター長より</li> <li>・目標設定</li> <li>・公認学生団体代表より</li> <li>・夏活動について現況報告とフィードバック</li> </ul>	7/6 (土) 15:10~17:00 (交流会 17:00~19:00)	104

### 〈振り返りワークショップ〉@多摩キャンパス・後楽園キャンパス

活動を振り返り、それを他者と共有することにより、自分自身の活動をより良いものにしていくことを目的としたボランティア活動の振り返りワークショップを行いました。個人の目的を振り返り、自身の気づきと課題の洗い出しを行いました。多摩キャンパスでは、13時~14時は上級生のための時間として、運営に関して他団体のやり方を情報共有し今後について考える時間としました。14時~16時は、具体的な活動のエピソードを5人一組となって体験を話すことにより、自身の体験を深め、他者の活動の疑似体験を行いました。公認学生団体間の横のつながりもでき、中身の濃い時間となりました。

内容	日時	人数
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上級生による運営についてのミーティング</li> <li>・体験の共有によるワークショップ</li> </ul>	9/21 (土) 13:00~16:00	68
	10/5 (土) 13:00~16:00	21

## 〈みんなで語ろう！ボラセン総会議 with4年生〉@多摩キャンパス

4年生が中心となり、ボランティアセンター公認学生団体のメンバーを対象としたイベントを実施しました。昨年度2月に行われたシンポジウムに替わり、公認学生団体メンバーを対象に後輩の悩みや関心に沿って話をしたり聞いたりする場を設けることとしました。約3か月間準備を行い、大変有意義な時間となりました。

内容	日時	場所	人数
<ul style="list-style-type: none"> <li>企画趣旨説明、アイスブレイク</li> <li>4年生体験談 (チーム女川、面瀬学習支援、はまぎくのつぼみ、はまらいんや、チーム防災)</li> <li>テーマごとにグループでの話し合い(30分×3回)</li> <li>公認学生団体ごとに話し合い</li> </ul>	12/15 (日) 13:00～17:00	1406教室	52

### ★グループごとのトークテーマ★各自以下①～⑦から3つ選択

- ①モチベーション ②活動の終え方、ゴールや方針 ③メンバーの巻き込み方 ④引継ぎの仕方、運営引退後
- ⑤活動を通して成長したこと、キャリア ⑥活動への心構え、価値観の変化、達成感
- ⑦ボランティアと他活動の両立

### ★アンケートより★

- ・他団体の先輩からこんなにながっかり経験を聞く機会は今までなかったので、貴重な時間でした。特に活動の収束については団体間で状況は違うが、現状を聞くことができ大変参考になりました。
- ・大学生の間で行う全ての活動に対するモチベーションが上がりました。
- ・素晴らしい企画でした。後輩のことや活動をすごく大事にしていることが伝わってきて、熱い気持ちになりました。自分が4年生まで続けられていたら後輩のために企画したいなと思いました。



【スタートアップセミナー】



【決起集会①】



【決起集会②】



【振り返りワークショップ①@多摩】



【振り返りワークショップ②@多摩】



【振り返りワークショップ@後楽園】



【みんなで語ろう！ボラセン総会議①】



【みんなで語ろう！ボラセン総会議②】



【みんなで語ろう！ボラセン総会議③】

## 〈2019年度 ハイライト〉

### ■みやこラボ

「はまぎくのつぼみ」は岩手県宮古市の企業の商品を物産展で取り扱ってきましたが、より効果的に物産展を運営すべく誕生した企画が「みやこラボ」です。宮古市とコラボするという意味と宮古市のlaboratoryになるという2つの意味が込められています。コラボした田中菓子舗は、岩手県宮古市田老町にある創業大正12年の菓子屋であり、長い間地元の方に愛されてきました。

コラボ企画で販売することになったのは、焼きドーナツ（味はプレーン、いちご、ココア、わかめ）で、添加物の入っていないシンプルで優しい甘さのドーナツです。学生が大学の Mascot キャラクターであるチュー王子も入れたパッケージのデザインを行いました。

日時	活動	場所
9/29(日)	ホームカミングデー	後楽園キャンパス
11/ 1(金)～ 4(月)	白門祭	多摩キャンパス
11/11(月)～15(金)	生協物産展	多摩キャンパス中央大学生協
2/15(土)	大学生ボランティア活動報告会&イベント	イオンモール多摩平の森

### ■「ふらっと真備」公認学生団体に

「ふらっと真備」から公認団体申請が提出され、11月27日（水）開催の第8回ボランティアセンター運営委員会において審議の結果、公認学生団体とすることについて承認されました。

2018年（平成30年）6月28日から7月8日にかけて西日本を中心に全国的に広い範囲で記録された台風7号および梅雨前線等の影響による集中豪雨である「平成30年7月豪雨災害」へのボランティア活動として始まり、その後継続的に岡山県倉敷市真備町でのヒアリング、戸別訪問、写真洗浄、イベント開催など行ってきました。今後は公認学生団体としてコミュニティ支援活動を行っていきます。

### ■防災百人一首ダウンロード開始

楽しくわかりやすく防災を学ぶオリジナル教材「防災百人一首」を大学ホームページからダウンロードできるようにする形で11月21日（木）から配布を始め、全国で多くの個人や団体の方々から反響をいただいています。

「防災百人一首」とは、災害のさまざまなケースに備え、注意し、行動する防災の知識と知恵を百人一首形式のかるたにまとめたものです。かるたはカラフルなイラスト入りの読み札にそれぞれ取り札を加えた、計30セット。読み札の文案は子どもたちにわかりやすいよう、「チーム防災」の学生たちが苦心して作り上げました。

「多くの子どもたちにゲームを楽しみながら防災に関する知識や興味をもってもらい、日頃から身近な生活に活用してもらいたい」というメンバーの思いから、作成しました。

制作にあたっては、日野市地域協働課が公募した、平成30年度日野市民活動支援補助金「若者チャレンジ部門」での助成金をもとに開発・作成いたしました。



【みやこラボ作業風景】



【2018年真備での活動】



【チーム防災防災百人一首】

## ① 被災地・復興支援活動

### はまぎくのつぼみ ～持続的支援と新しいボランティア～

#### ■ 団体理念

「はまぎくのつぼみ」は岩手県宮古市を拠点として活動しています。「はまぎく」とは宮古市の花であり、花言葉は「逆境に立ち向かう」です。宮古市は過去に数回津波の被害を受けましたが、その度に立ち上がり、東日本大震災にも屈することなく復興を遂げようとしています。「宮古の未来のために学生の自分たちは何ができるのか」を真剣に考え、意見を出し話し合い、復興のお手伝いをしています。「つぼみ」はメンバーや活動参加者ひとりひとりを表しています。一人の力は小さなものですが、みんなの力を合わせることで、いつの日か宮古に満開の花が沢山咲くことを願っているという思いがこの団体名に込められています。

震災から年月が経ち、復興への思いや防災の大切さも風化してきています。現地で学び、学童の子どもたちや公営住宅の方々と交流し、物産展やSNS、報告会などで発信しています。震災を忘れることなく未来に繋げていきたいという思いを胸に刻み、支援して下さる方々への感謝とともに活動しています。

#### ■ 団体構成

46人（4年生16人、3年生7人、2年生8人、1年生15人）

#### ■ 活動

メインの活動は春、夏の長期休暇を利用して岩手県宮古市を訪問し、ボランティア活動を行います。授業のある期間は定期的に集まりミーティングを行い、様々な活動を行うための準備をします。

活動	内容	日程	人数
夏活動事前調査	ヒアリング、ご挨拶	6/21（金）～ 6/23（日）	4
夏活動 第1クール	ヒアリング、学ぶ防災ツアー、夏祭りの手伝い	8/ 8（木）～ 8/13（火）	13
夏活動 第2クール	学ぶ防災ツアー、夏祭りの手伝い、企業訪問等	8/14（水）～ 8/18（日）	11
夏活動 第1クール	秋祭りの手伝い、戸別訪問、イベント	9/12（木）～ 8/17（火）	14
わたぼうし祭	福祉施設での物産展運営	9/29（日）	10
（みやころぼ）白門祭	焼きドーナツの販売、売上金一部を岩手県宮古市に寄付	11/ 1（金）～ 11/ 4（月）	32
生協物産展	岩手県宮古市の商品を販売、売上金一部を岩手県宮古市に寄付	11/11（月）～ 11/15（金）	30
春活動	企業訪問、イベント、ヒアリング	2/21（金）～ 2/26（水）	13

#### ■ 榎本由波（はまぎくのつぼみ2019代表・商学部2年）より

「はまぎくのつぼみ」は設立当初は仮設住宅団地への戸別訪問や子どもたちを対象にした交流会などの活動をしてきました。近年では大学周辺地域で宮古市周辺の特産品を集めた物産展を開催したり、災害公営住宅の住民の方々と地域の方々のための公民館での交流会活動を行ったりしています。

2019年度は、お祭りをキーワードとして、3つの宮古のお祭りに参加させていただき、改めて宮古の魅力を知ることができたり、「みやころぼ」が発足し、物産展の意味を捉え直した一年でした。

間もなく東日本大震災の発生から10年という節目を迎えます。当時「被災地」と呼ばれていた地域では、既に新たな生活が根付き始めています。私たち「はまぎくのつぼみ」も、そんな現地の状況に合わせて次の活動へと転換しなければなりません。私たち、東京の学生に何ができるのか。これからも真摯に考え、行動し続けていきます。



【災害公営住宅での交流会】



【福祉施設での物産展】



【物産展で扱う企業へのヒアリング】

## 面瀬学習支援 ～共に学び、共に描く、ふるさとの未来図～

### ■ 団体理念

「学校とも家庭とも違う、子どもたちのための第3の居場所をひらく」

面瀬学習支援は、復興のため大人が慌ただしく過ごすようになった中で、地域の方の「子どもが子どもらしくなくなった」という言葉から発足しました。震災から9年が経過した今だからこそ、その影響は見えづらく複雑化しています。

先生や親という「教える・育てる」立場でもなく、友達のような「仲間・対等」な立場でもない、お兄さん・お姉さんのような「ナナメの関係」を築くことで、私たちのひらく多学年交流の場が、子どもの本音を拾う居場所となることを目指します。

### ■ 団体構成

43人（4年生3人、3年生10人、2年生10人、1年生20人）

### ■ 活動

宮城県気仙沼市面瀬地区の小学生と中高生を対象に、宿題指導と自由遊び、企画を中心として活動しています。

長期休暇中に約1週間現地に滞在し、活動ごとに延べ250～300人の子どもたちが参加しています。また、週に1回程度、活動が子どもたちにとって過ごしやすいものになるよう、メンバー全員でミーティングを重ねています。

小学校の先生、現地NPO等地域の方にご協力やアドバイスをいただきながら、子どもたちと地域の様子、その変化に合わせ、子どもの気持ちに寄り添う団体となるように努めています。

活動	内容	日程	人数
気仙沼スタディツアー	新入生のためのスタディーツアー、ヒアリングや訪問	6/7(金)～6/10(月)	11
夏活動	宿題指導、自由遊び、ふれあい農園での企画等	8/16(金)～8/25(日)	37
冬活動	宿題指導、自由遊び、ふれあい農園での企画等	12/20(金)～12/30(月)	42
春活動(中止)	宿題指導、自由遊び、ふれあい農園での企画等	3/20(金)～3/29(日)	—

### ■ 山口菜奈（面瀬学習支援2019年度代表・法学部2年）より

私は1年生の頃から面瀬学習支援の活動が被災地支援であることに疑問を感じていました。震災による影響が、子どもたちを取り巻く環境に残っていることを頭の中で理解はしていても、実際の現地の活動で、子どもとの会話の中に震災の話が出ることはほとんどないからです。代表を務めてから、自分たちの活動のゴールは何だろうか、ボランティアは何を理由に撤退するのか、ひたすらメンバーと話し合いを重ねましたが、団体として1つの答えが出ないまま今年度が終わってしまいました。

学生と子どもの主観面から考えると、学生は子どもたちに会うことが楽しみであるし、子ども達も学生を必要としてくれていることは、事実だと思います。ですが様々な機関から助成金を頂いて活動を継続している以上、地域の子どもの状況を客観的にとらえ活動を継続するか、終息するか、学生は今まで活動をさせて頂いた感謝のもと責任をもって決断をする必要があると私は考えます。



【学生の企画】



【自治会館にて】



【ふれあい農園】



## チーム女川 ～女川に寄り添い、共に歩む～

### ■ 団体理念

・ 継続的に交流促進の場を設け、住民と共に支え合いの輪を築く

震災後、女川町では過疎化と高齢化が一気に進み、それとともに震災前の地域コミュニティが崩壊してしまっているという課題があります。イベントを開催することによってその地区のコミュニティの活性化を図ることが目標です。

・ 住民の声に寄り添い、女川の今を発信する

コミュニティ支援活動においては、住民の声に耳を傾けニーズをくみ取ったうえで活動を行い、学生と住民が相互に協力し合って形作っていきたいと考えています。また、物産展活動を通して東京の人に女川の現状について知ってもらい、少しでも女川の魅力を伝えられればと思います。

### ■ 団体構成

22人（4年生5人、3年生2人、2年生7人、1年生8人）

### ■ 活動

現地での主な活動は、災害公営住宅にお住まいの方を対象にしたコミュニティ支援活動です。集会所でイベントを開き一緒に手芸をしたり、ハンドマッサージをしながらお話を聞いたりといった活動をしています。東京での活動としては、女川町観光協会が都内のお祭りや物産展に出店する際のお手伝いや、白門祭での女川の郷土料理の販売を通して、女川町をより多くの人に発信する活動を行っています。

活動	内容	日程	人数
5月活动	6月活动に向けた木村区長との打ち合わせ	5/ 2 (木) ～ 5/ 4 (土)	2
女川スタディツアー	新入生のためのスタディーツアー、ヒアリングや訪問	6/28 (金) ～ 6/30 (日)	11
夏活動 第1クール	戸別訪問、イベント、ヒアリング	9/11 (水) ～ 9/14 (土)	9
夏活動 第2クール	戸別訪問、イベント、ヒアリング	9/15 (日) ～ 9/18 (水)	9
白門祭	宮城県女川町さんまのつみれ汁の販売	11/ 3 (日) ～ 11/ 4 (月)	9
春活動 (中止)	戸別訪問、イベント、ヒアリング	2/28 (金) ～ 3/ 2 (月)	—

### ■ 新開千聖（チーム女川2019年度代表・総合政策学部2年）より

今年度は、「現地との繋がり」を強く感じた1年でした。定期的に戸別訪問やお茶会を開催したことで、学生と公営住宅の住民の方が顔の分かる、双方向の関係へと近づいていきました。細かい変化に気づくことができたり、より深く現地と関わることが出来たと感じています。しかし、現地の状況が変化する中で、「学生に出来ることは何か？」を改めて考えることとなりました。震災から9年が経過し、私たち学生は復興支援から地域支援へと活動の幅を広げてきました。団体で活動を引き継ぐだけでなく、現地のニーズに合わせた決断が求められています。チーム女川の強みは東京都内で発信活動が出来ることであるため、今後は物産展や報告会の場へ積極的に参加し、女川の今を発信したいと計画しています。今後とも温かいご支援、ご協力をよろしくお願い致します。



【交流会】



【物産展で扱う企業へのヒアリング】



【イベント後の集合写真】

## ふらっと真備 ～支え合いの真備を共に育む～

### ■ 団体理念

ふらっと真備は、西日本豪雨災害で被災した岡山県倉敷市真備町を拠点にした団体です。多摩と理工の文理混合メンバーで活動を行っています。

「支え合いの真備を共に育む」という理念のもとで、真備の住民の方と住民の方同士の間関係、住民の方と居住環境全体の地域関係の二つの”支え合い”の関係を、住民の方と学生が”共に”協力して築き上げ、災害前よりも強いコミュニティを創造することを目標としています。最終段階として、学生が抜けても真備の住民の方のみでコミュニティを継続していけるような地域の自立を目指しています。

### ■ 団体構成

23人（3年生5人、2年生4人、1年生14人）

### ■ 活動

現地では、主に真備の四つの仮設住宅にて、戸別訪問とイベント企画を通じたコミュニティ支援活動を行っています。戸別訪問では、仮設住宅一軒一軒の住民の方の傾聴を行い、住民の方の現状を把握するとともに、困っていることや心配事を話してもらうことで少しでも不安を和らげることが出来るように努めています。イベント企画では、真備にちなんだものや季節に合ったイベントを集会所にて開催し、住民の方同士を結び付けたり、集会所利用の活性化を促すように努めています。また、地域に密着した現地の関係者の方からのヒアリングも行います。

活動	内容	日程	人数
6月活动	ヒアリング、戸別訪問、仮設住宅でのお茶会参加等	6/29(土)～6/30(日)	14
夏活動 第1クール	訪問、家屋整理、写真洗浄	8/15(木)～8/19(月)	9
夏活動 第2クール	スタディーツアー、戸別訪問、イベント、写真洗浄等	8/18(日)～8/22(木)	14
夏活動 第3クール	戸別訪問、イベント等	9/6(金)～9/10(火)	14
冬活動	戸別訪問、イベント、ヒアリング	12/21(土)～12/22(日)	9
春活動(中止)	戸別訪問、イベント、ヒアリング	3/17(火)～3/22(日)	—

### ■ 新開千聖（ふらっと真備2019年度代表・総合政策学部2年）より

2019年度はふらっと真備が団体化し、地盤を固めた1年でした。キャンパスが異なることもあり、何度も話し合いを重ね、学生全員の意見を確認しました。「支え合いの真備を共に育む」という理念は、短文ながらも学生の愛が沢山込められています。被災から時間が経つにつれて、現地では仮設住宅を出られる方が多くなりました。おめでたいと祝う一方、寂しいという思いを持たれている住民の方も多いように感じています。支援団体は沢山ありますが、1人1人と話をして心に寄り添える良さを私たち学生は持っています。これからも地域の方と連携を図りながら、真備全体を支える力になりたいと考えています。

この1年間、学生は懸命に現地と向き合ってきました。私にとって団体の仲間は誇りであり、心から尊敬しています。感謝の気持ちを常に持ち、私たちに出来ることに一歩ずつ取り組んでいきます。今後とも、温かい応援とご協力をよろしくお願い致します。



【戸別訪問】



【仮設住宅集会所でのイベント】



【住民の方へのヒアリング】

## チームくまもと ～私たちがくまもとの為に出来ることを、いまここから～

### ■ 団体理念

平成28年4月の熊本地震で深刻な被害を受けた熊本県阿蘇郡西原村の小森仮設団地、山西公営住宅と河原公営住宅で活動しています。昨年、入居者が減少したことにより小森仮設団地が集約されました。仮設団地には期限がありますが公共事業などによりまだ移れない方もいらっしゃる一方で、震災から4年が経ち、被災者としてではなく前に歩んでいる方も多くなったように感じます。現段階では来年の夏に仮設団地が終了する予定となっており、今後は主に現在も住んでいらっしゃる方々の見守り活動を行って行きたいと考えております。

### ■ 団体構成

24人（3年生5人、2年生4人、1年生15人）

### ■ 活動

現地支援者である社会福祉協議会（西原村地域支え合いセンター）の方々や自治会長、他のNPOの皆さんから継続的に小森仮設団地や山西公営住宅、河原公営住宅の方々の様子を伺い、その方々にアプローチするためのイベント企画、訪問活動などを行っています。仮設団地の入居者数の減少や仮設団地の規模の縮小により、閑散としたような雰囲気を感じ心細く思っている方もいらっしゃいます。定期的に訪れることで、少しでも明るい気持ちになり明日からの活力になるような活動を心がけています。

活動	内容	日程	人数
夏活動事前調査	新入生のためのスタディーツアー、ヒアリング	6/29（土）～ 6/30（日）	20
夏活動	戸別訪問、イベント、ヒアリング	9/14（土）～ 9/17（火）	23
11月活動	ヒアリング、ご挨拶	11/23（土）～ 11/24（日）	10
春活動（中止）	戸別訪問、イベント、ヒアリング	3/28（土）～ 3/29（日）	—

### ■ 滝澤佑介（チームくまもと2019年度代表・経済学部2年）より

活動場所である西原村の復興が進み仮設団地の状況が変化していく中で、チームくまもとがどのように関わることができるかをとても考えさせられた1年だと感じました。仮設団地では、半分以上の住民の方が退去し仮設団地の取り壊しの目処も立ったので、復興が進み現地の状況が大きく変化しています。その中で、今までの活動と同じような内容でいいのか、どのような活動をすれば被災地支援を行えるかを、団体内で話し合ったり西原村の方々にヒアリングをしたりして考えました。今年度で被災地支援を終えるという選択をすることになりましたが、2年間西原村に関わらせていただいているので、被災地支援という形だけでなく地域おこしのような形でも関わっていきたいと思いました。



【お世話になっている民泊のお宅にて】



【集会所での住民の方との交流】



【出発前の集合写真】

## 2 地域活動

### チーム防災 ～「学生×地域×防災」で自助・共助の力を高める～

#### ■ 団体理念

「災害時に生き延びる、そして災害後に安心して暮らす」という最終目標に向けて、チーム防災は「防災活動を通じて学び合い・活かし合い、自助共助の力を高め合う」という理念に沿って活動しています。

東日本大震災の被災地にボランティアに行っていた学生が、東京での防災活動の必要性を感じたことからこの団体が発足されました。その意思を受け継ぎ、子どもから自治体の方まで幅広い年代の方と触れ合い、自分の住む地域で起こり得る災害について一緒に考え、一緒に備えていきます。

#### ■ 団体構成

23人（4年生6人、3年生4人、2年生4人、1年生9人）

#### ■ 活動

主に日野市を中心に活動しています。日野市の自治体の方々や協力したり、日野市にある小中学校に行きそこで防災を絡めたゲームや防災地にちなんだ講座を実施したりと、子どもから大人まで多くの方と関わりを持ち、防災という知識を広めています。また、日野市以外でも依頼をくださった方々のところでも活動をさせて頂いており、地域外での活動も徐々に増えつつあります。

今後は、上記のような活動の他にも自分たちで企画を考えて地域にアプローチし、活動の幅を広げていきたいです。

活動タイトル	活動概要	日程	参加人数
七ツ塚自治会カエルキャラバン	自治会と連携し防災の知識を学べるプログラムの実施	5/26 (日)	10
日野探し物ラリー	日野市内の防災の状況調査	6/16 (日)	12
トリアージ訓練 (明星大学)	災害医療におけるボランティアと緊急時の対応の学習	6/29 (土)	3
南平高校HUG	1年生対象の高校主催避難所運営ゲームの補助	7/ 4 (木)	2
日野市地域懇談会	「防災と居場所」などについての日野市主催の懇談会	7/ 6 (土)	5
防災ゲームDay (そなエリア東京)	体験を通しての防災学習	7/ 7 (日)	10
五小祭	防災百人一首の実施	7/20 (土)	6
内閣府子ども震災関デー	防災体験エリアにおける防災ゲームの実施	8/ 7 (水) ~ 8/ 8 (木)	13
北川原公園グラウンドでのイベント	イベントでの防災すごろく、防災百人一首の出演	10/13 (日)	12
まちづくり市民フェア	日野市のイベントでの防災百人一首と毛布担架の実施	10/22 (火)	14
防災授業 (中央大学附属中学校)	毛布担架、紙食器づくり、クロスロードによる防災学習支援	10/25 (金)	7
避難所開設訓練 (日野第四小学校)	避難所の開設に関する訓練、空き缶を使った炊飯体験など	10/26 (土) ~ 10/27 (日)	5
白門祭	おしるこ (防災食) の販売	11/ 2 (土) ~ 11/ 3 (日)	28
トリアージ訓練 (拓殖大学)	災害医療におけるボランティアと緊急時の対応の学習	12/ 7 (土)	4
南平高校HUG	1年生対象の高校主催避難所運営ゲームの補助	12/24 (火)	6
帰宅困難者対策訓練 (品川駅)	駅で大規模震災に遭った場合を想定した防災訓練	2/ 4 (火)	4

#### ■ 藤澤史織 (チーム防災2019年度代表・法学部2年) より

チーム防災のモットーは、メンバーと参加してくださった方々と一緒に活動を楽しむことです。防災、というと堅苦しいイメージを持たれがちですが、意外と身近で小さなことから始められるのです。日本という自然災害の多い国に住んでいるからこそ、いつ来るかわからない災害に対して日頃から、何気なく備えておくことがとても大切です。

チーム防災は1年間の中に数多くの活動があり、対象は子どもから年配の方まで幅広く展開しています。それぞれの活動に向けて、週に2回ほどミーティングを行っており、次の活動に向けてどんなコンテンツを扱うかなど意見を出し合います。内容は堅いですが、雰囲気はとても明るく終始笑いの絶えない時間です。

真面目なことを真面目に話し合いながら、一人ひとりが自分の活動を楽しめる、というのは本当に素敵なことだと思います。



【防災百人一首】



【子ども震災関デー】



【カエルキャラバン】

## りこボラ！ ～理系でもボランティアを日常に！～

### ■ 団体理念

「理系でもボランティアを日常に！」

中央大学理工学部ボランティア団体「りこボラ！」では、後楽園（理工学部）キャンパス内及びキャンパスの位置する文京区を中心に活動しています。

団体の創設背景として、理工系の学生は文系の学生に比べてボランティア活動に関わる機会が少ないことが挙げられます。これは我々中央大学生に限ったことでなく日本の理系学生全般で言われていることであり、その原因は一般に、理工学部では講義や実験による拘束時間が長いことが理由であるとされていました。しかしながら、理工系の学生であっても授業時間以外はアルバイト・サークル等に時間を使っている学生が大半であるのが実情であり、ここに理工系学生への「ボランティアを通じた社会との関わり」及びその機会創出の意義を見出した理工学部生が集まり、「行動する知性」を体現すべくそれぞれの信念と共に活動しています。

### ■ 団体構成

164人（大学院1人、4年生6人、3年生24人、2年生31人、1年生103人）

### ■ 活動

理工学部の学生を対象にボランティア情報の発信や参加、活動の広報を中心に実際にボランティアの企画を作る活動も行っております。現在ネットワークメンバーが134名、運営30名で活動をしています。ネットワークメンバーとはボランティアに実際に行き活動を行いたい人で構成されています。また運営メンバーは週2回以上ミーティングをすることによって、ネットワークメンバーの方がボランティアに参加しやすい環境づくりや組織運営を行っております。ボランティアの良さをもっと多くの人に知ってほしい。そんな思いを抱えつつ活動を続けてまいります。

私たちの主な活動は以下の4つです。

- ①ボラカフェ…ボランティアで得た経験の発信と共有の場の運営をします。
- ②イベント企画…ボランティア初心者が参加しやすいゴミ拾いなどを企画し、活動を行います。
- ③ボランティア活動と紹介…大人の方や他大学生と関わりながら様々な活動を行っています。
- ④ボランティアセンターの学生スタッフとしての役割…多摩にあるボランティアセンターと後楽園キャンパスの学生の架け橋となるよう努めています。



【ボラカフェ】



【クリーン大作戦】



【ぼうさい運動会】



【ホームカミングデー】



【お神輿ボランティア】



【集合写真】

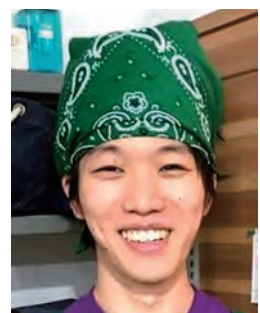
活動タイトル	活動概要	日程※	活動日数	参加人数
花花花見	公園でのゴミ拾い、ゴミ拾い終了後の花見	4/ 5 (金)	1	56
新歓活動知り放題ランチ	ボランティアに関する個別説明会	4/10 (水)	1	30
運営説明会	りこボラ!の運営に関する説明会	4/18 (木)	1	50
花壇整備	地域の方と一緒に花壇整備、ボランティアの説明	4/20 (土)	1	16
お菓子パーティー	新入生と上級生の交流会	4/23 (火)	1	25
第1回総会	りこボラ!の新体制の発表と説明、スタートアップ会	5/12 (日)	1	63
わんぱく相撲(文京区総合体育館)	第43回わんぱく相撲文京区大会の運営手伝い	5/19 (日)	1	2
ボランティア講演(京華中学校)	中学生に対するボランティア体験談の講演	5/26 (日)	1	1
ボラカフェ	本学の大学院生による報告「チャリティーサンタ」	5/29 (水)	1	49
ぼうさい運動会	「某31(防災)の日プロジェクト」として開催	5/31 (金)	1	13
りこぼら相談室	ボランティアについての相談会	6/19 (水)	1	20
クリーン大作戦	後楽園キャンパス周辺の清掃	6/22 (土)	1	13
学生ソーシャルアクション連絡会	文京区内でボランティアをしている学生の交流会	6/27 (木)	1	7
防災ゲーム大会	「某31(防災)の日プロジェクト」としてクイズ大会を実施	7/ 6 (土)	1	12
理科実験ボランティアイベント	外部団体と協力して行った小学生に対する理科実験イベント	7/ 7 (日)	1	8
ボラカフェ	本学の学部生による講演「祭り子どもキャンプ」	7/10 (水)	1	51
納涼祭(三組弥生会)	設営・運営ボランティア	8/ 3 (土)	1	7
学生企画ワークショップ	後楽園キャンパス自衛消防隊を対象にした議論会	8/ 7 (水)	1	6
白山神社祭礼	設営・運営ボランティア	8/14 (水) ~ 8/15 (木)	2	14
江ノ島ビーチクリーンイベント	他ボランティア団体と合同のビーチクリーンイベント	8/22 (木)	1	21
湯島KID' SPROJECT (湯島聖堂大聖殿)	屋台の手伝い	8/24 (土)	1	4
合宿(福島県いわき市)	運営・活動についての話し合い	8/29 (木) ~ 8/30 (金)	2	21
ぼうさい遠足(そなエリア東京)	「某31(防災)の日プロジェクト」として開催した首都直下型地震に対する防災学習	8/31 (金)	1	6
後期StartDashCleanUp!	後楽園駅周辺でのゴミ拾い活動	9/20 (金)	1	3
聞いて得する!ボランティア入門	1年生向けオリエンテーションのボランティア回での発表	10/14 (月)	1	3
表町町会の子ども食堂	食事の提供や準備、片付け	10/24 (木)	1	2
ボラカフェ	台風19号被害に関するボランティア体験の共有および意見交換会	10/30 (水)	1	20
ハロウィンゴミ拾い	池袋サンシャインシティ周辺でのゴミ拾い活動	10/31 (木)	1	7
大学祭(後楽園キャンパス)	活動展示および屋台でのフライドポテト販売	11/ 2 (日) ~ 11/ 4 (月)	3	24
クリーン大作戦	後楽園キャンパス周辺(東京ドーム周辺)でのゴミ拾い	11/24 (日)	1	16
礪川マラソン道路警備	礪川マラソンコース(伝通院通り)の道路警備ボランティア	11/24 (日)	1	3
ボラカフェ	新代表による春休み等の活動紹介、新体制紹介	12/18 (水)	1	25
鴉のゴミ拾い調査	世田谷区三軒茶屋駅周辺でのゴミ拾い活動	12/28 (土)	1	8
合宿(新潟県魚沼市)	運営・活動についての話し合い	2/17 (月) ~ 2/18 (火)	2	15
			小計	39
				621

※車内泊を含みます

### ■土屋璃和登(りこボラ! 2019年度代表・理工学部3年)より

昨年度から引き続き代表をやらせていただいている土屋璃和登です。ボランティアは楽しいうえ、学びも数多く含んでいる活動です。偏見ではなく本当のボランティアを一人でも多くの人に知ってもらいたい。そんな思いから一年生の頃から運営に加わり活動を続けてきました。

団体としては今年度、前年度のメンバー同士で仲を深めることができなかったという反省点から組織運営に力を入れつつもメンバー同士が仲良く活動ができる環境を作っていました。その結果運営メンバー同士の仲を深めることができました。一方で運営ではなく実際にボランティアをしたい人たちを繋げることができませんでした。来年度からは新しい代表のもと、りこボラ!としてネットワークメンバーともしっかりとつながり気軽にボランティアに参加しやすいような環境を作っていきます。



〈協定・助成金〉

名称	対象団体
中央共同募金会	ふらっと真備
公益財団法人 キリン福祉財団	面瀬学習支援
大塚商会ハートフル基金	チームくまもと
公益財団法人 信濃育英会	チームくまもと
Yahoo! 基金	はまぎくのつぼみ
	面瀬学習支援
	チーム女川
	チームくまもと
日野市 市民活動支援補助金	チーム防災
一般財団法人 学生サポートセンター	りこボラ!
公益財団法人日本財団学生ボランティアセンター (Gakuvo)	ボランティアセンター
中央大学 委員会	ボランティアセンター
社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団	ボランティアセンター

〈表彰〉

■中央大学委員会 会長奨励賞

氏名	所属	備考
向山 碧社	法学部4年	公認学生団体「チーム防災」
荒井 俊哉	法学部4年	白門祭実行委員会
梅原 紅音	法学部4年	グリーンバード中央大学チーム
中村 美希	法学部4年	落川交流センター学生スタッフ
日高あきら	文学部4年	公認学生団体「はまぎくのつぼみ」

〈メディア掲載〉

■新聞・テレビ等

	メディア名	内容	掲載日
1	中央大学学員時報 (第506号)	平成30年度学員会会長賞 (森、向山、梅森、稲泉)	2019/ 4/10
2	三陸新報	(面瀬学習支援) 新たな学習支援法探る 中央大学の学生来市 気仙沼	2019/ 6/ 7
3	KSB 瀬戸内海放送サイト	(ふらっと真備) 大学生が西日本豪雨の被災地 真備町を訪問被災者と一緒に白玉団子作る 倉敷市	2019/ 8/17
4	三陸新報	(面瀬学習支援) 夏休みの思い出に 面瀬ふれあい農園 ウォーターフェス)	2019/ 8/20
5	倉敷ケーブルテレビ	(ふらっと真備) 真備町の仮設住宅で住民と交流	2019/ 8/20
6	RSK山陽放送	(ふらっと真備) 夏活動	2019/ 9/ 9
7	読売新聞岡山版	(ふらっと真備) 真備で中央大生被災地支援学ぶ	2019/ 9/11
8	読売新聞	(チームくまもと) 復興住宅でどご汁に舌鼓 中央大生ら振る舞う	2019/10/12
9	東京新聞	(チーム防災) 知識と訓練 役立った 中央大 ボランティア活動発表会	2019/10/25
10	NHK 地域づくりアーカイブス	(はまらいんや) 被災者を孤立させない災害ボランティア	2019/10/28~
11	中央大学学員時報 (第508号)	白門の絆をつなぐさまざまな支援 学生ボランティア (黒岩由衣、小林俊郎)	2019/11/ 1
12	信濃毎日新聞	(長野市災害ボラ)「中央大生や卒業生 長野のリンゴ畑で泥出し作業」	2019/11/26
13	朝日中高生新聞	(チームくまもと)「誠心誠意、被災者の声を聞く」	2019/12/ 1
14	学員時報オンライン	(長野市災害ボラ)「長野県中支部 支部だより」	2019/11~
15	福井新聞	(チーム防災)「防災百人一首がれ 中央大HPで入手可能に」	2019/12/13
16	三陸新報	(面瀬学習支援)「遊んで食べて楽しく 中央大生 子供たちと交流」	2019/12/27
17	河北新報	(丸森町災害ボラ)「中央大生が支援活動 丸森へそ大根優しさ染みる」	2019/12/31
18	中央大学学員時報 (第509号) _1	(イオンイベント)「学生支援・震災ボランティア活動支援」	2020/ 1/ 新年号
19	中央大学学員時報 (第509号) _2	(長野市災害ボラ)「母校学生ボランティアが長野市の被災地で復興活動に大活躍」	2020/ 1/ 新年号
20	東京新聞	(イオンイベント)「キャンパスインフォメーション」	2020/ 2/ 1
21	広報ひの (第1464号)	(イオンイベント)「学生ボランティア活動報告会」	2020/ 2/ 1
22	日野市 ボランティアインフォメーション 2020年2月号	(イオンイベント)「大学生ボランティア活動報告会&イベント 被災地と多摩地域の架け橋」	2020/ 2/ 5
23	SBC信越放送	(長野市春ボラ)「被災地で都内の学生がボランティア 長野市」	2020/ 2/18
24	テレビ信州	(長野市春ボラ)「中央大学の学生がボランティア」	2020/ 2/18
25	NHK長野放送局	(長野市春ボラ)「春休みの学生がボランティア活動」	2020/ 2/18
26	NBS長野放送	(長野市春ボラ)「東京の大学生がボランティア 春休みを利用し2泊3日 長野の被災地で活動 住民めっちゃうれし」	2020/ 2/18
27	長野市民新聞	(長野市春ボラ)「中大生春休みで再び 長沼 豊野 14人災害ボランティア」	2020/ 2/20
28	長野日報	(長野市春ボラ)「復興願いボランティア 長野の台風被災地で中央大生が活動」	2020/ 2/20
29	長野朝日放送	(長野市春ボラ)「大学生が被災地でボランティア」	2020/ 2/20

■草のみどり掲載

Vol.	掲載者	内容	掲載月
313	新開千聖 (総政・チーム女川・ふらっと真備)	現地への想いを原動力に一女川と真備で学んだこと	2019/ 5
	木村亘佑 (法・はまらいんや・チームくまもと)	学員会会長賞	
	向山碧社 (法・面瀬学習支援・チーム防災)	学員会会長奨励賞	
	稲泉大地 (総政・チーム防災) *チーム防災として受賞		
	梅森隼 (総政・面瀬学習支援・チーム防災)		
314	高本翔太 (経・面瀬学習支援)	緑を大切に生きる! ~継続的な関わりから得たもの~	2019/ 7
315	梅原紅音 (法・グリーンバード)	「ゴミ拾い=町をきれいにする」……それだけじゃない!	2019/ 9
316	藤原凌 (経・チームくまもと)	向き合って築く一私を感じたボランティアの形	2019/11
317	稲泉大地 (総政・チーム防災)	教えてもらった、人生100年時代への糧	2020/ 1
318	高本翔太 (経・面瀬学習支援)	特別座談会	2020/ 3
	千葉麻由 (文・はまらいんや)	ボランティアの経験が拓いた将来への道	
	桑田百合子 (文・はまぎくのつぼみ)		

■HAKUMON Chuo掲載

No.	掲載者	内容	掲載時期
261	松田美慧 / 理工学部 (りこボラ!・ふらっと真備)	学生が発案し実践した「防災訓練」 災害発生時、私たちは動けるだろうか 危機意識はボランティア経験から	2019春
262	石山智弥 / 経済学部 (チーム女川・チーム防災・ふらっと真備)	常に考えたい、私たちにできること 西日本豪雨被災地でボランティア活動 学生2人が体験記	2019夏
263	みやこらぼ (はまぎくのつぼみ)	被災地の老舗菓子店とコラボの「焼きドーナツ」 ボランティアセンター公認「はまぎくのつぼみ」がホームカミングデー、白門祭で販売	2019秋

行 動 す る 知 性 。



発行日●2020年4月24日

発行者●中央大学ボランティアセンター報告書